

映画「福田村事件」上映会

福田村事件

監督 森達也
主演 佐伯俊道 井上淳一 荒井晴彦
共演 井浦新 田中麗奈 永山瑛太
東出昌大 コムアイ 本竜麻生 松浦祐也 向里祐香
杉田富樹 カトウシンスケ ビュール瀧 水道橋博士
豊原功補 柄本明

関東大震災から100年
いま見たことを、伝えたい



100年の時を超え、遂に、実話に基づいたかつてない日本映画が公開される

<日本/上映時間137分/PG12>

<会場・詳細>

日本語字幕付き上映

2024年
◆ 8月9日(金) ①10:00 ②14:00 ③18:20
(開場は各回30分前・全席自由)

大阪市立阿倍野区民センター 小ホール
(大阪市阿倍野区阿倍野筋4-19-118 地下1階)
交通：地下鉄谷町線阿倍野駅6番出口反対側すぐ
阪堺電鉄上町線阿倍野駅下車2分

◆ 8月29日(木) ①10:30 ②14:00
(開場は各回30分前・全席自由)

四條畷市市民総合センター・市民ホール
(四條畷市中野3-5-25)
交通：JR学研都市線 忍ヶ丘駅南へ600m

◆ 8月30日(金) ①10:30 ②14:00
(開場は各回30分前・全席自由)

河内長野市立文化会館
ラプリーホール 小ホール
(河内長野市西代町12-46)
交通：南海高野線・近鉄南大阪線 河内長野駅 徒歩7分

◆ 9月15日(日) ①10:00 ②14:00
(開場は各回30分前・全席自由)

アプラたかいし 大ホール(高石市陵園1-9-1)
交通：南海本線 高石市駅東へ徒歩1分

<入場料金> 本チラシをご持参の方 1,000円 (当日一般 1,300円)

4会場にて上映しておりますので、お近くの上映会にお越しください。



©「福田村事件」プロジェクト 2023

今年の元旦、能登半島を襲った地震に私たちは衝撃を受け、“災害は、人間の都合など関係なく起こる”と思われ知らされました。100年前の1923年9月1日、関東大震災の混乱の中、誤った情報や根拠のない噂を信じた人々が、罪のない朝鮮人の人を殺害。その5日後、千葉県・福田村で自警団が、香川から来た行商の人たちを、朝鮮の人と思ひ込み、行商団15人のうち幼児3人と妊婦を含む9人を殺害しました。その事件について描いた映画「福田村事件」は、関東大震災から100年の昨年9月1日に劇場公開し、今年3月まで上映され、日本アカデミー賞で、作品賞・監督賞・脚本賞で優秀賞を獲りました。東日本大震災やコロナ禍、まことしやかにインターネットなどで流れてくる情報に、恐怖心を煽られたことを思い出します。南海トラフ地震が起こると言われている今、誤った情報の恐ろしさを改めて考える機会になればと企画しました。

1923年9月1日
11時58分、
関東大地震が発生した。

ストーリー

大

正デモクラシーの喧騒の裏で、マスコミは、政府の失政を隠すようにこぞって「：いずれは社会主義者か、鮮人か、はたまた不逞の輩の仕業か」と世論を煽り、市民の不安と恐怖は徐々に高まっていた。そんな中、朝鮮で日本軍による虐殺事件を目撃した澤田智(井浦新)は、妻の静子(田中麗奈)を連れ、智一が教師をしていた日本統治下の京城を離れ、故郷の福田村に帰ってきた。同じ頃、沼部新助(永山瑛太)率いる薬売りの行商団は、関東地方へ向かうため四国の讃岐を出発する。長閑な日々を打ち破るかのよう、9月1日、空前絶後の揺れが関東地方を襲った。木々は倒れ、家は倒壊し、そして大火災が発生して無辜なる多くの人々が命を失った。そんな中でいつしか流言飛語が飛び交い、瞬く間にそれは関東近縁の町や村に伝わっていった。2日には東京府下に戒厳令が施行され、3日には神奈川に、4日には福田村がある千葉にも拡大され、多くの人々は大混乱に陥った。福田村にも避難民から「朝鮮人が集団で襲ってくる」「朝鮮人が略奪や放火をした」との情報がもたらされ、疑心暗鬼に落ち入り、人々は恐怖に浮足立つ。地元の新聞社は、情報の真偽を確かめるために躍起となるが、その実体は否としてつかめないでいた。震災後の混乱に乗じて、亀戸署では、社会主義者への弾圧が、秘かに行われていた。

イントロダクション

関

東大震災の発生からわずか5日後の9月6日のこと。千葉県東葛飾郡福田村に住む自警団を含む100人以上の村人たちにより、利根川沿いで香川から訪れた薬売りの行商団15人の内、幼児や妊婦を含む9人が殺された。行商団は、讃岐弁で話していたことで朝鮮人と疑われ殺害されたのだ。逮捕されたのは自警団員8人。逮捕者は実刑になったものの、大正天皇の死去に関連する恩赦ですぐに釈放された…。これが100年の間、歴史の闇に葬られていた「福田村事件」だ。行き交う情報に惑わされ生存への不安や恐怖に煽られたとき、集団真理は加速し、群衆は暴走する。これは単なる過去の事件では終わらない、今を生きる私たちの物語。

100年の時を超え、
遂に、実話に基づいたかつてない
日本映画が公開される。



企画：荒井晴彦 企画協力：辻野弥生、中川五郎、若林正浩 総括プロデューサー：小林三四郎 プロデューサー：井上淳一、片嶋一貴 アソシエイトプロデューサー：内山太郎、比嘉世津子 音楽：鈴木慶一 撮影：桑原正
照明：豊見山明長 録音：白井勝 美術：須坂文昭 装飾：中込秀志 ヘアメイク：清水美穂 編集：洲崎千恵子 助監督：江良圭 スチール：佐藤芳夫 メイク：綿井健陽 美術監督：磯見俊裕
キャスト：新井康太、東山光宏 クラウドファンディング・寄付：越智あい 宣伝：山口慎平 大塚宣伝：松井寛子 宣伝デザイン：100KG 特別協力：真宗教団連合 集英社 協力：東映京都撮影所 松竹撮影所 モノポライズ
●スポンサー 文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会 釜山国際映画祭 NUTRILITE Award NUTRILITE A・P・M A・P・M
This film won the NUTRILITE Award at the Asian Project Market 2023 of Busan International Film Festival. [2023年 | 日本 | DCP | 英語: SEPTEMBER1923 | 5.1ch | 137分]

©「福田村事件」プロジェクト2023 配給：太秦 製作プロダクション：ドッグシュガー 製作：「福田村事件」プロジェクト(株式会社テンカット、株式会社カタダハウス、辻野弥生、株式会社ビナンサーカス、MBS、株式会社ドッグシュガー、太秦株式会社)

PG12
124008